

国立

国会

図書館

月報

NATIONAL
D I E T
LIBRARY
MONTHLY
BULLETIN
2026.2

第89回IFLA年次大会

拡充を続ける国立国会図書館の典拠データ

連載 検印・検印紙セレクション
第三回 多種多様な検印



国立 国会 図書館 月報

NO. 778
FEBRUARY 2026

CONTENTS

- 1 『梅つくし』 — モダンなレトロ —
今月の一冊 国立国会図書館の蔵書から
- 5 第89回IFLA年次大会
- 14 拡充を続ける国立国会図書館の典拠データ
- 27 館内スコープ
地図書庫の小世界
- 33 本屋にない本
『牟宇姫への手紙』
角田石川家に嫁いだ伊達政宗の次女
- 34 NDL Topics
- 28 連載 検印・検印紙セレクション
第三回 多種多様な検印



表紙：「Kumasaka. 熊坂」山田寿雄 原画
石井勇義 編 牧野富太郎 訂 『日本産ツバキの図』
1940 帙入 63 枚 (33 cm)
<https://dl.ndl.go.jp/pid/1907698/1/45>

『梅つくし』 — モダンなレトロ —

瀬川 智子



古谷 紅麟

『京都図案』2(1), 1907.4, p.21

<https://dl.ndl.go.jp/pid/1503056/1/32>



表紙

『梅つくし』

古谷紅麟 著 山田芸艸堂 明治40(1907)年
図版24枚; 19×26cm

<https://dl.ndl.go.jp/pid/854297>

本書は、梅をテーマにした図案集である。『日本国語大辞典』によると、図案とは「形・色などを美的に配合し、装飾その他に利用するため図を表わすこと。また、その図の柄や模様。美術工芸品および一般工作物の製作のために、意匠や考案を表現した図¹⁾」のこと。明治時代初期にはデザインという外来語の訳語に当てられたそうだが、現代はそのまま「デザイン」が使われる場合が多いだろうか。しかし、明治時代や大正時代には、美術学校に図案科が、百貨店に図案部があったり、図案雑誌で懸賞による図案募集が行われたりと、図案という言葉は今よりも人々の身近にあったようだ。

本書の著者である古谷紅麟(本名藤太郎、1875(1910)は明治時代末に活躍した図案家である。写生を重視する四条派の画家・鈴木万年に絵を、琳派に傾倒した画家でもある図案家・神坂雪佳に図案を学んだ。絵や図案にとどまらず、建築学や室内装飾、木炭画なども、意欲的に幅広く学んでいたそうだ。江戸時代に活躍した琳派の代表的画家・尾形光琳に私淑し、紅麟の号を用いたと言われている。

紅麟の生涯の師となったのは、「光琳の再来」とも称される神坂であった。紅麟は京都市立美術工芸学校(現在の京都市立芸術大学)図案科の助教諭としての顔も持つが、同時期

本書に掲載されている図案から



<https://dl.ndl.go.jp/pid/854297/1/9>



<https://dl.ndl.go.jp/pid/854297/1/16>



<https://dl.ndl.go.jp/pid/854297/1/8>



<https://dl.ndl.go.jp/pid/854297/1/20>

に神坂も同校の教諭を務め、共に後進の指導を担っている。紅麟考案、神坂校閲の図案雑誌『新美術海』⁽²⁾を発刊するなどその関わりは深く、紅麟は神坂の門下の秀才と目され、神坂は紅麟を自身の後継者と考えていたそう。早くから展覧会で入賞を重ねた紅麟は精力的に図案集を刊行していたが、突然の病に倒れ、36歳で夭逝した。⁽³⁾

逝去の後、大正8年に紅麟の遺作展覧会が開かれた。工芸図案や屏風絵などの作品をまとめその際に刊行された『紅麟遺墨集』では、紅麟は「図案を作るにおいて天稟の才能を有し」⁽³⁾と評されている。また、図案のみならず、花鳥画や人物画等の絵画制作についても評価が高い。

筆者が本書を知ったのは、以前関わった展示で紹介されていたからという偶然によるものだが、レトロなようでいてどこか新しく、洗練された図案の数々が強く印象に残った。紅麟の作品を見ると、そのセンスだけでなく画風の多様さにも驚かされる。幅広い知識の吸収を怠らず、画家・図案家・教師という様々な立場を生きた紅麟だからこそなのかもしれない。

その他の紅麟の作品から



古谷紅麟『写生草花模様上』山田芸艸堂, 1907
<https://dl.ndl.go.jp/pid/12770610/1/4>



古谷紅麟『写生草花模様上』山田芸艸堂, 1907
<https://dl.ndl.go.jp/pid/12770610/1/16>



古谷紅麟『写生草花模様下』山田芸艸堂, 1907
<https://dl.ndl.go.jp/pid/12770611/1/21>

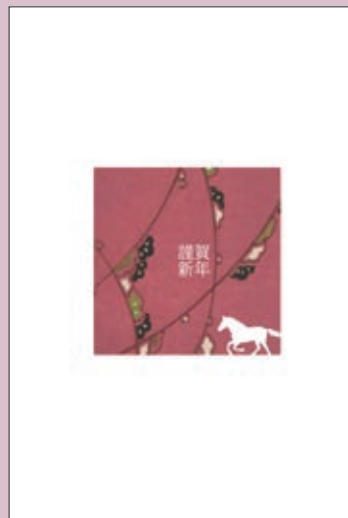


猪熊浅麿 著, 古谷紅麟 画『旧儀裝飾十六式図譜』[2], 京都美術協会, 1903
<https://dl.ndl.go.jp/pid/2554261/1/29>



古谷紅麟『こうりんもやう・あしでもやう』1冊, 山田芸艸堂, 1908
<https://dl.ndl.go.jp/pid/12852063/1/7>

職場や町内会のイベントのポスター制作を任されたことはないだろうか。あるいは、今年は少し凝った年賀状を作りたいと思ったことは？ 今の時代、イラストやフリー素材を入手する方法はいくらでもあるが、ここでは一味違う手段を提案したい。



筆者が『梅つくし』の画像を使って作成したポスター・年賀状

多数の当館所蔵資料を収録している「国立国会図書館デジタルコレクション」(<https://dl.ndl.go.jp/>)に掲載されているコンテンツの中でも、『梅つくし』は著作権保護期間満了のため、画像を使ってポスターや年賀状を作ることできる。国立国会図書館デジタルコレクションの活用により、多くの人が使うフリー素材とは異なる魅力を出せるかもしれない。

使用した図案（左）<https://dl.ndl.go.jp/pid/854297/1/20>、（右）<https://dl.ndl.go.jp/pid/854297/1/9>



イメージバンク「梅つくし」のページ

(<https://www.ndl.go.jp/imagebank/theme/umetsukushi>)

テーマに合った素材を探すのが手間だという方には、NDLイメージバンク (<https://www.ndl.go.jp/imagebank>) をおすすめしたい。国立国会図書館が所蔵する資料のデジタル化画像をテーマ別に掲載しているため、目的に合った画像を簡単に探すことができる。イメージバンクに掲載の画像は全て著作権保護期間が満了しているため、商用を含めた二次利用が可能である。

※実際に利用する際は留意事項をご一読いただきたい。

- ・国立国会図書館「国立国会図書館ウェブサイトからのコンテンツの転載」
<https://www.ndl.go.jp/use/reproduction>
- ・NDL イメージバンク「ご利用について」
<https://www.ndl.go.jp/imagebank/about>

○参考文献

古谷紅麟『古谷紅麟草花模様』(近代図案コレクション), 芸艸堂, 2005 <KC521-H149>

神坂雪佳, 古谷紅麟 編『新美術海』(近代図案コレクション), 芸艸堂, 2006 <KC521-H279>

並木誠士, 松尾芳樹, 岡達也『図案からデザインへ 近代京都の図案教育』淡交社, 2016 <KC521-L239>

※ <>内は国立国会図書館請求記号

- 1 日本国語大辞典第二版編集委員会, 小学館国語辞典編集部 編『日本国語大辞典』第2版, 第7巻, 小学館, 2001, p.750 <KF3-G103>
- 2 『新美術海』1-34, 1902.5-1906.4, <https://dl.ndl.go.jp/pid/1615566>
- 3 古谷紅麟画, 橋永春波等編『紅麟遺墨集』, 芸艸堂, 1919 <https://dl.ndl.go.jp/pid/1182898>



第89回 IFLA年次大会

2025年8月18日(月)～22日(金)
アスタナ (カザフスタン)

世界中の図書館が協力しあい、共通の問題を解決し、図書館の未来を切り開いていく存在、それが国際図書館連盟、通称 IFLA (International Federation of Library Associations and Institutions) です。

毎年* 開催される IFLA 年次大会では、世界中から多くの図書館員が集まり、図書館に関する多様な課題について最新の知見を情報交換し、議論を交わします。

今回はカザフスタンのアスタナで開催されました。テーマは「知識を結集し、未来を築く (Uniting Knowledge, Building the Future)」です。

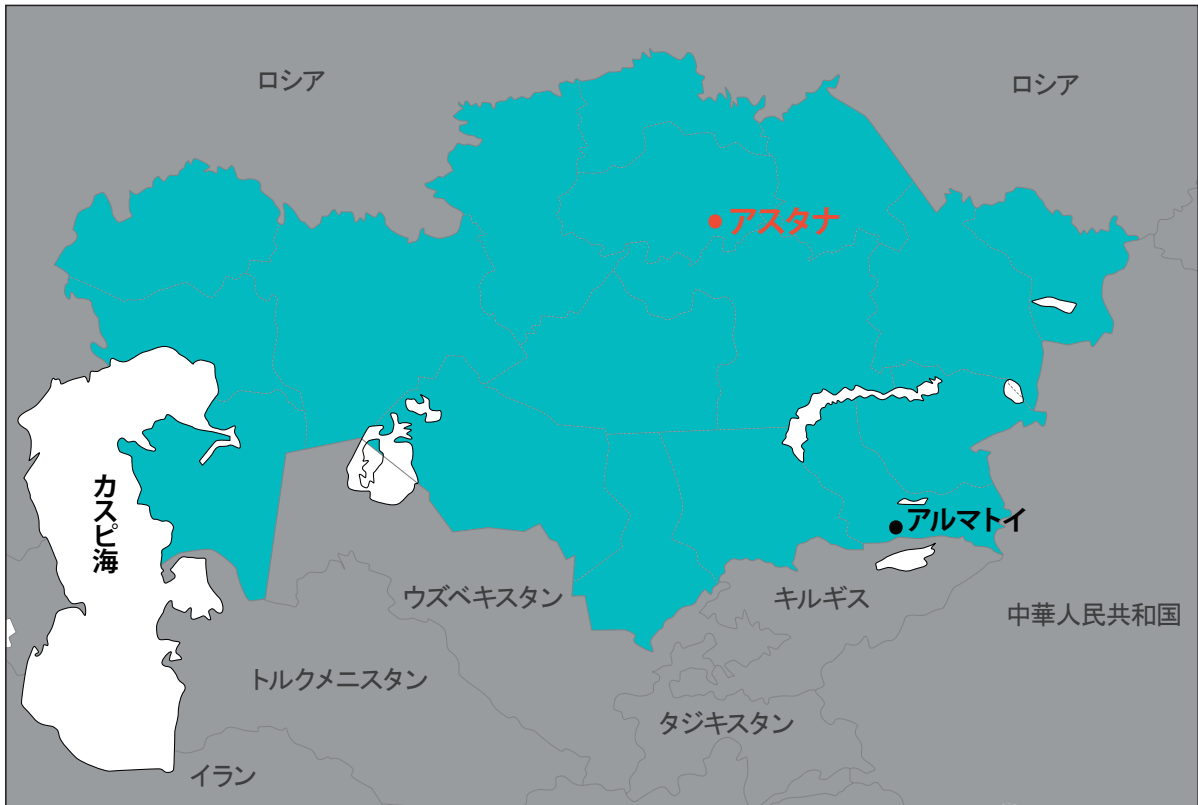
世界各国から 1600 名以上が参加し、期間中は、分科会等による多数のオープンセッションのほか、各国図書館団体や関連企業等が出展する展示会や、ポスターセッション等が行われました。また、関連する行事も開催されました。

国立国会図書館 (NDL) は、現地での大会に参加し、分科会等で発表や多くの参加者と議論を行いました。

* 2024 年は、IFLA 年次大会は開催されず、代わりに IFLA 情報未来サミットがオーストラリアのブリスベンで開催されました。



当館からの参加者 (会場にて)



カザフスタンとアスタナの位置 (白地図専門店 <https://freemap.jp/item/asia/kazakhstan.html> よりカザフスタンの白地図を改変)

開催地アスタナ



ライトアップされるバイテレク。1997年に首都がアルマトイからアスタナに遷都されたことを記念して建設されたタワーです。今大会のロゴのモチーフにも用いられています。



アスタナの街並み。1998年に国際コンペで第1位を獲得した黒川紀章建築都市設計事務所案をベースに都市開発が進められています。



World Library and Information Congress
89th IFLA General Conference and Assembly
18-22 August 2025, Astana, Kazakhstan

<https://2025.ifla.org>



主な会場となったコンgresセンターの外観

会場の様子



コンgresセンターの建物内

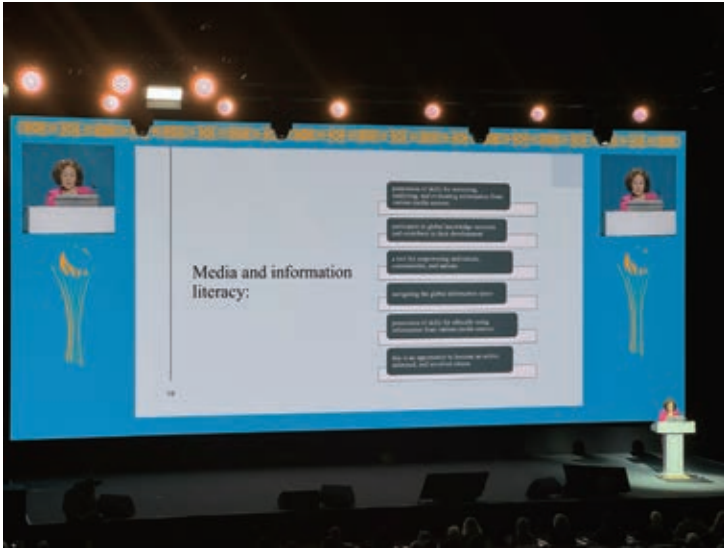


当館からの参加者（会場正面にて）



もう1つの会場であるヒルトン・アスタナに設けられた受付の様子

開会式



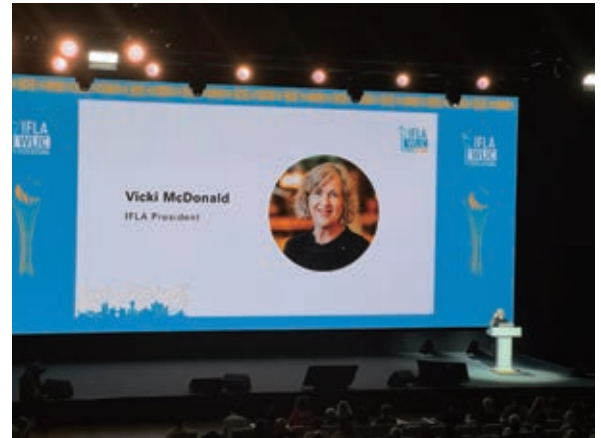
アルファラビ・カザフ国立大学ジャーナリズム学部のオリンタイ・オシヤノヴァ准教授による講演「情報へのアクセスとメディアリテラシー：課題と解決策」の様子
 カザフスタンで急速に普及しつつあるソーシャルメディアの利用状況を紹介しつつ、ファクトチェックの重要性とそのための3つのリテラシー（情報リテラシー、メディアリテラシー、デジタルリテラシー）を向上させる社会的な取り組みの重要性が指摘されました。また、図書館や研究機関が、信頼できる情報源へのアクセスとその評価のための提言を提供することの重要性が強調されました。



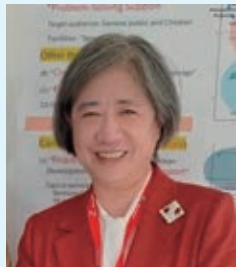
開会式終了直後の当館からの参加者



開会式では民族舞踊なども披露されました。



マクドナルド IFLA 会長（当時）の挨拶



倉田敬子
 (館長)

今回、館長としては初めて IFLA 大会に参加しました。アスタナは草原の国の都市らしく、涼しくさわやかな風が吹き快適でした。旧ソ連邦でロシア語も公用語ですが、西洋化が進んでいるという印象を受けました。開催予定だった CDNL（国立図書館長会議）が直前に中止となり残念でしたが、IFLA の当時のマクドナルド会長、ウイアー新会長、テ・パエア・パリンガタイ次期会長をはじめ、国立図書館長、副館長、図書館関係者と交流を深めることができました。また韓国国立中央図書館のキム館長とは、同館との業務交流やキム館長をお招きしての講演会などについてお話いたしました。



<https://2025.ifla.org>

World Library and Information Congress
 89th IFLA General Conference and Assembly
 18-22 August 2025, Astana, Kazakhstan

議会のための図書館・調査サービス



議会のための図書館・調査サービス分科会ほか共催オープンセッション
 (「AIが図書館や情報の信頼性に及ぼす影響」など5つのトピックを議論)

清水直樹

(調査及び立法考査局国土交通課)

議会のための図書館・調査サービス分
 科会第39回サテライトミーティング参加



大会に続いて、「議会のための図書館・調査サービス分科会」の会議(サテライトミーティング)が2日間にわたって開催され、「連携協力とイノベーションの促進」をメインテーマに発表や議論が行われました。特に焦点が当てられたのは、調査における生成AIの活用でした。

生成AIが調査の有用なツールになりつつあるという認識が共有されるとともに、生成AIの出力に含まれ得る誤りやバイアスの問題に言及がありました。また、組織としてどのように生成AIを導入するか(ガイドラインの策定、研修の実施等)について、情報交換が行われました。

会議では、議会図書館員の役割は、中立・正確な情報提供による議会への奉仕であることも強調されました。新しい技術の動向に触れるとともに、議会図書館の普遍的な使命を再認識する機会となりました。



サテライトミーティング内で行われた「AIワークショップ」
 各自が生成AIを用いる演習にも取り組みました。



サテライトミーティングの第2セッション
 「議会のための図書館・調査サービスにおける連携協力とイノベーション」

資料保存



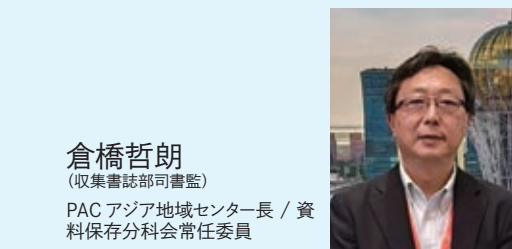
資料保存分科会常任委員会ビジネスミーティングにて資料保存分科会の活動に関する報告をしている様子



資料保存分科会常任委員会ビジネスミーティングの様子



資料保存分科会ほか共催のオープンセッション「建物、持続可能性と保存」でのチェコ国立図書館の発表



倉橋哲朗
(収集書誌部司書監)
PAC アジア地域センター長 / 資料保存分科会常任委員

IFLA の保存協力活動に係るネットワークである PAC や資料保存分科会の会合への出席などを通じて、災害レジリエンスの向上や気候変動への対応、デジタル文化遺産の保存とアクセスなどのテーマが世界共通の優先的課題として重視されていることを認識することができました。そして、ここが正に協働の場なのだということを強く実感しました。今回の参加によって得られた人とのつながりや知見を今後の取り組みに活かしていきたいと思います。



小野智仁
(収集書誌部資料保存課)

資料保存関連のセッションでは、地球環境へ配慮した持続可能な資料保存が要点に挙げられており、各機関の取り組みや課題について直接伺うことができました。地球温暖化による気候変動への対応については、資料保存分野においても大きな課題であり、この課題を乗り越えるためにも様々な専門家との協働が不可欠であると感じました。現地では様々なバックグラウンドを持つ方々と交流でき、非常に貴重な機会となりました。



カザフスタン国立学術図書館・カザフスタン国立図書館共催のオープンセッション「カザフスタンにおける図書館界の構築」



World Library and Information Congress
89th IFLA General Conference and Assembly
18-22 August 2025, Astana, Kazakhstan

<https://2025.ifla.org>

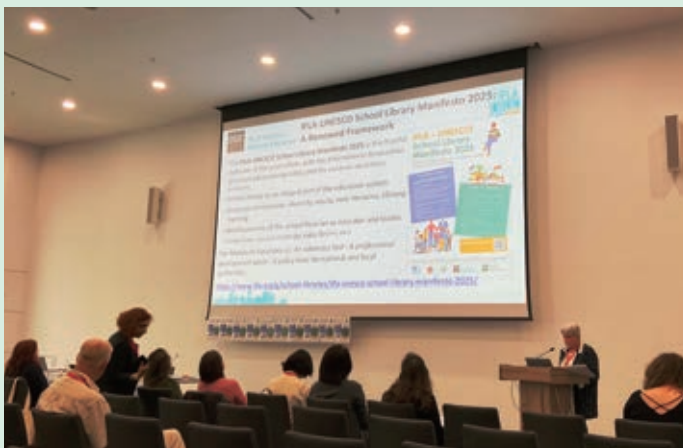
児童・ヤングアダルト図書館



児童・ヤングアダルト図書館分科会常任委員会



児童サービスに関係する4つの分科会の合同セッションにおける児童・ヤングアダルト図書館分科会による発表「絵本で世界を知ろうプログラム」



学校図書館セッション



山本直樹

(国際子ども図書館児童サービス課)

児童・ヤングアダルト図書館分科会が行っている大きなプロジェクトの一つに「絵本で世界を知ろうプログラム」があります。世界各国の図書館員がおすすめする児童書で構成されたセットは国際子ども図書館が所蔵しており、国内外の機関に貸し出しています。

学校図書館分科会では今年、IFLA-UNESCO 学校図書館宣言を26年ぶりに改訂しました。子どもを取り巻く情報環境の急速な変化に対応するため、図書館や図書館員のさらなる充実を求めるものです。

子どもによりよい本や情報を届けたい、よい居場所を提供したい、という気持ちは、国や地域を問わず、全世界の図書館員の共通の願いなのだと実感しました。

また、カザフスタンの図書館関係者や現地の学生らとの交流を通じ、マンガやアニメ、日本文化への関心の高さも垣間見ることができました。



LGBTQ セッション



大会後に訪問したアスタナ中央児童青少年図書館内での展示の様子

ポスターセッション



BABA Yuki, "Japanese Crepe-Paper Books with Arsenic-Containing Colors" <https://repository.ifla.org/handle/20.500.14598/6799>

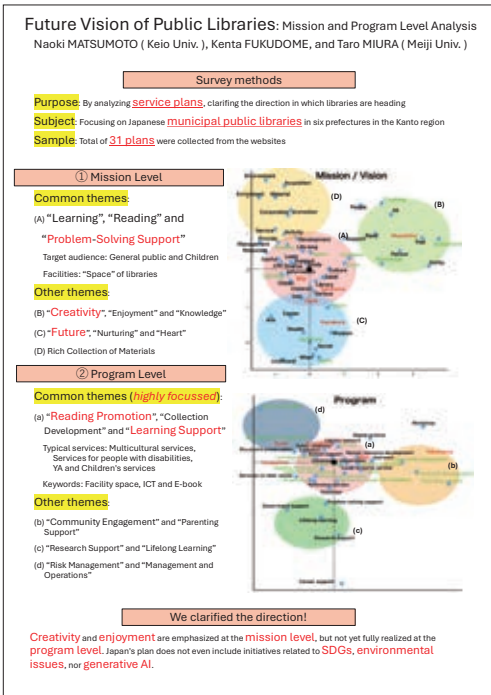
国際日本文化研究センターの馬場幸栄氏 (IFLA 地域史・系図学分科会委員) による、日本のちりめん本についての紹介ポスター



Aizada Uteshova, "Uniting Knowledge, Building the Future" <https://repository.ifla.org/handle/20.500.14598/4466>
本ポスターセッションの最優秀ポスター賞を受賞したカザフスタンのアイザダ・ウテシヨワ氏による同国の公共図書館内にあるアメリカン・コーナーの紹介ポスター



韓国国立中央図書館 (NLK) による AI 等を導入した NLK ラボに関するポスター



MATSUMOTO Naoki, FUKUDOME Kenta, MIURA Taro, "Future Vision of Public Libraries: Mission and Program Level Analysis" <https://repository.ifla.org/handle/20.500.14598/4478>

松本直樹慶應義塾大学教授、三浦太郎明治大学教授らによる関東地方の公共図書館のサービス計画を分析した研究成果の紹介ポスター



韓国国立中央図書館 (NLK) のキム館長と当館からの参加者

※本ページに掲載されているポスターはすべてクリエイティブ・コモンズ・ライセンス (表示 4.0 国際) のもとに掲載を許諾されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/>



<https://2025.ifla.org>

World Library and Information Congress
89th IFLA General Conference and Assembly
18-22 August 2025, Astana, Kazakhstan



今大会のイベントとして、会場近くのショッピングモールで開催されたフラッシュモブの様子。一斉に本を読みながら歩き回るという内容で行われました。



ベトナム国立図書館のアンゲン副館長（左）と倉田館長（右）



マクドナルドIFLA会長(当時)主催のIFLA会長セッションに参加する倉田館長



ウィアーIFLA新会長（左）と倉田館長（右）。ウィアー新会長は、カナダ国立図書館・文書館館長です。



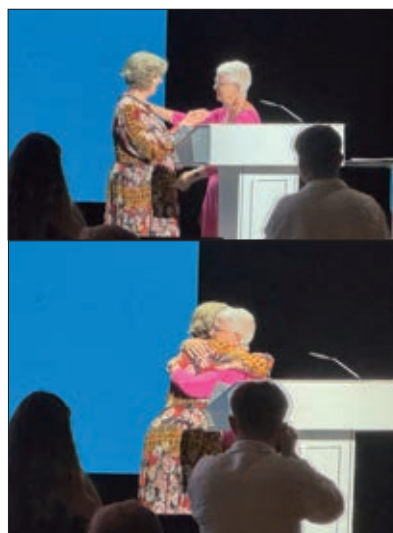
テ・パエア・パリンガタイ新次期会長（左）と倉田館長（中央）。ウィアー新会長の次のIFLA会長予定者がニュージーランドのパリンガタイ新次期会長です。

他国との交流

閉会式



次回、2026年のIFLA大会は韓国の釜山で開催されます。



壇上で抱擁するマクドナルドIFLA会長(当時)（左）とウィアー新会長（右）

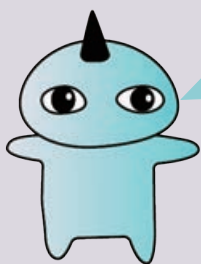


最優秀ポスター賞の表彰

拡充を続ける 国立国会図書館の典拠データ



Web NDL Authorities (<https://id.ndl.go.jp/auth/ndla>) の画面



僕は典拠太郎。
同姓同名の別人や
同音異義語などを
<みわけ>
ことが得意だよ!



僕は典拠次郎。
同じ人物の名前に
いろいろな表記が
ある場合などに
<まとめて>
探すことが
得意だよ!



僕は典拠三郎。
典拠データ
そのものを
<つなげて>
利活用することが
得意だよ!

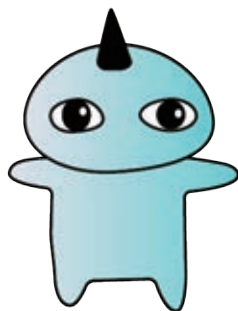
国立国会図書館（以下 NDL）では典拠データを作って、「国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス(Web NDL Authorities、以下 Web NDLA)」(<https://id.ndl.go.jp/auth/ndla>)で公開しています。個人名、団体名、地名、家族名、統一タイトル、普通件名など、約 146 万件（2025 年 7 月 2 日現在）のデータをこれまでに作成してきました。

典拠データとは、資料の検索の手がかりとなる著者やキーワードを整理してまとめたデータです。典拠データに関連する書誌データの集合を作り、検索キーワードの揺れによる検索もれや検索ノイズのない、的確な検索を可能にする役割があります。

ここ近年、NDL の典拠データは種類も増え、パワーアップしています。今回は、主に 2021 年以降の拡充について、典拠 3 兄弟の得意技に焦点をあてて、ご紹介します。

(収集・書誌調整課 書誌調整係)

1. 典拠太郎<みわける> 「ジャンル・形式用語」 典拠



2021年1月より「ジャンル・形式用語」の典拠がWeb NDLAのデータの仲間入りをしました。「ジャンル・形式用語」は、その資料のテーマではなく、その資料が“何であるか”を表す統制語彙です。現在「漫画」「児童図書」「議会資料」「LLブック」「楽譜」「コンピュータゲーム」「アニメーション」「児童雑誌」「住宅地図」の9つの典拠データがあります。

(例)「ジャンル・形式用語」典拠「漫画」のWeb NDLA データ

Web NDL Authorities	
国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス	
漫画	
ID	001347325
典拠種別 skos:inScheme	ジャンル・形式用語
名称/タイトル skos:prefLabel	漫画
名称/タイトルのカナ読み ndl:transcription@ja-Kana	マンガ
名称/タイトルのローマ字読み ndl:transcription@ja-Latin	Manga
同義語 skos:altLabel	マンガ; コミック; コミックス; 劇画; Comics (Graphic works); Manga
注記 skos:note	<u>資料のおおむね全体が単一あるいは複数のコマを構成単位とする絵によって内容を伝える形式の資料に使用</u> ; 他の形式と混在する場合は、一冊の大部分が漫画形式である資料に使用
関連リンク skos:closeMatch	gf2014026266 (LCGFT) ; gf2022026036 (LCGFT)
出典 dct:source	バトルグラウンドワーカース, 2020.12 国史大辞典 (20210104)
作成日 dct:created	2021-01-04

<https://id.ndl.go.jp/auth/ndlgft/001347325>

「ジャンル・形式用語」 典拠の〈みわける〉力をお伝えするために、検索の例をご紹介します。「国立国会図書館サーチ」(以下「NDL サーチ」)(<https://ndlsearch.ndl.go.jp/>) の検索画面では、9つの「ジャンル・形式用語」を用いて検索できるように、チェックボックスを用いて検索できるようになっています。

NDL サーチのトップ画面



<https://ndlsearch.ndl.go.jp/>





国立国会図書館サーチ NDL SEARCH

ヘルプ ログイン

鉄腕アトム

ジャンル・形式検索

漫画 (545) 児童図書 (164) 児童雑誌 (250) 住宅地図 議会資料 楽譜 (376) コンピュータゲーム (2) アニメーション (11) ILブック すべて解除

検索

キーワード: 鉄腕アトム 図書種: 国立国会図書館 (2112) すべてクリア

検索結果 2,112 件

タイトル	著者	出版年	図書館
鉄腕アトム (定番!昭和あたりのヒットソング、混声合唱ベース)	谷川俊太郎 作詞, 高井達雄 作曲, 田中達也 編曲	2025.3	
鉄腕アトム: 初単行本版 3 (河出文庫; て3-6)	手塚治虫 著	2022.10	
鉄腕アトム: 初単行本版 2 (河出文庫; て3-5)	手塚治虫 著	2022.10	
鉄腕アトム: 初単行本版 1 (河出文庫; て3-4)	手塚治虫 著	2022.10	
アニソン大全: 「鉄腕アトム」から「鬼滅の刃」まで	滝川隆一 著	2025.11	
図説鉄腕アトム		2022.3	
鉄腕アトム: オリジナル版 16		2023.1	
FAMILY TIME: 鉄腕アトム70thトレジャーBOX: 鉄腕アトム原画集		2021.7	
鉄腕アトム 宇宙の勇者: デジタルリマスター版		2025.8	
鉄腕アトム: オリジナル版 15	手塚治虫 著	2022.12	
鉄腕アトム: オリジナル版 11	手塚治虫 著	2022.8	

⑨ 様々なジャンルや形式の資料が検索結果に並んでいます。



国立国会図書館サーチ NDL SEARCH

ヘルプ ログイン

鉄腕アトム

ジャンル・形式検索

漫画 (545) 児童図書 (164) 児童雑誌 (250) 住宅地図 議会資料 楽譜 (376) コンピュータゲーム (2) アニメーション (11) ILブック

検索

キーワード: 鉄腕アトム 図書種: 国立国会図書館 (545) ジャンル・形式検索: 漫画 (545) すべてクリア

検索結果 545 件

タイトル	著者	出版年	図書館
鉄腕アトム: 初単行本版 3 (河出文庫; て3-6)	手塚治虫 著	2022.10	
鉄腕アトム: 初単行本版 2 (河出文庫; て3-5)	手塚治虫 著	2022.10	
鉄腕アトム: 初単行本版 1 (河出文庫; て3-4)	手塚治虫 著	2022.10	
鉄腕アトム: オリジナル版 16	手塚治虫 著	2023.1	
FAMILY TIME: 鉄腕アトム70thトレジャーBOX: 鉄腕アトム原画集	手塚治虫 著	2021.7	
鉄腕アトム: オリジナル版 15	手塚治虫 著	2022.12	
鉄腕アトム: オリジナル版 11	手塚治虫 著	2022.8	
鉄腕アトム: オリジナル版 14	手塚治虫 著	2022.11	
鉄腕アトム: オリジナル版 07	手塚治虫 著	2022.4	
鉄腕アトム: オリジナル版 13	手塚治虫 著	2022.10	
鉄腕アトム: オリジナル版 12	手塚治虫 著	2022.9	

⑩ 「漫画」のみにチェックして再検索してみましょう。

⑪ “漫画形式”の作品だけに絞って検索できました。

国立国会図書館サーチ
NDL SEARCH

ヘルプ ログイン

鉄腕アトム

ジャンル・形式用語
 漫画
 児童図書 (11)
 児童雑誌
 住宅地図
 議会資料
 楽譜 (376)
 コンピュータゲーム
 アニメーション
 LLブック

検索

検索結果 376 件

タイトル	著者	出版年	図書館
鉄腕アトム (定番!!昭和あたりのヒットソング、混声合唱ピース)	谷川俊太郎 作詞, 高井達雄 作曲, 田中達也 編曲	2025.3	● ☆
鉄腕アトム (Cafua music library) (Toy box)	高井達雄 作曲, 三浦秀秋 編曲	[2015]	● ☆
鉄腕アトム (吹奏楽ヒットシリーズ = Hit series wind orchestra; QM-1561)	高井達雄 作曲, 高橋宏樹 編曲	[2015.12]	● ☆
鉄腕アトム (吹奏楽行進曲 = March wind orchestra; QM-42)	高井達雄 作曲, 山下国俊 編曲	[2003]	● ☆
鉄腕アトム (やさしい音楽: はじめての合奏; SY-12)	高井達雄 作曲, 山下国俊 編曲	[2003]	● ☆
鉄腕アトム (少人数吹奏楽 = Small band wind orchestra; QQ-11)	高井達雄 作曲, 山下国俊 編曲	[2001]	● ☆
ピアノで弾くアストロボーイ・鉄腕アトム		2003.5	● ● ☆
鉄腕アトム テレビマンガ主題歌 (トランペット鼓笛隊; SP-10)		[20-]	● ☆
アストロボーイ・鉄腕アトム/ピアノ・ソロ・アルバム: 楽しいバイエル併用		2003.5	● ● ☆
フット・オン・アニメヒーロー 巨人の星・鉄腕アトム・鉄人28号・マジンガーZ・宇宙戦艦ヤマト・狼少年ケン・あしたのジョー・ハリスの旋風・ゲゲゲの鬼太郎・魔法使いサリー・ウルトラマン・アルプスの少女ハイジ・天才バカボン・科学忍者隊ガッチャマン・タイガーマスク・アタックno.1 (吹奏楽コンサート = Concert wind orchestra; QC-118)	小島聖美 編曲	[1995]	● ☆
アニメソング大全集: 「鉄腕アトム」から「新河鉄道999」まで		1979.8	● ● ☆

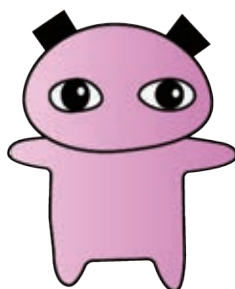
同じ検索語でも結果がガラッと変わったのが、おわかりいただけると思います。

他にも、タイトルに『鉄腕アトム』を含む資料には、児童図書・アニメーション・コンピュータゲームなどもあり、これらも「ジャンル・形式用語」によって、<みわける>ことができます。ぜひ試してみてください。

9つの「ジャンル・形式用語」典拠データと書誌データとのリンクは、運用を開始した2021年1月以降に作成した書誌データはもちろん、それ以前の古い書誌データともさかのぼってリンクしています。リンクしている書誌データの件数は、合わせて約95万件になります。多くの書誌とリンクすることによって、「ジャンル・形式用語」典拠の<みわける>力を発揮することができています。

「ジャンル・形式用語」典拠データは Web NDLA で一件ずつ検索することはもちろん、Web NDLA 一括ダウンロード用ファイルページからまとめてデータ取得することもできます (<https://id.ndl.go.jp/information/download/#anchor02>)。

2. 典拠次郎<まとめる> 「著作」 典拠



太郎が紹介した「ジャンル・形式用語」典拠と同様に、「著作」典拠も2021年1月から、運用を開始したものです。

「著作」とは、作品そのものを表す抽象的な概念です。同一著作でも、資料によってはタイトルの表記に揺れがあったり、異なる言語に翻訳されていたりしますが、これらの資料を<まとめる>役割をもっているのが「著作」典拠です。

例として、次のWeb NDLAの典拠データを見てみましょう。これは、H・B ストウ (Stowe, Harriet Beecher, 1811-1896) による著作“Uncle Tom's cabin”の典拠データです。

Web NDL Authorities	
国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス	
Uncle Tom's cabin	
ID	01089483
典拠種別 skos:inScheme	著作
名称/タイトル xl:prefLabel	Uncle Tom's cabin
別名/別タイトル xl:altLabel	アンクル・トムノ小屋; アンクルトムズ ケビン トム ジイヤノ小屋 アンクル・トムの小屋; アンクルトムの小屋; アンクルトムズケビン; トムじいやの小屋
創作者等 dct:creator	Stowe, Harriet Beecher, 1811-1896
分類記号 skos:relatedMatch	933.6 (NDC9); KS239 (NDLC)
関連リンク skos:exactMatch	n96072966 (LCNAME); NDL 01089483 (VIAF)
出典 dct:source	『アンクル・トムの小屋』を読む / 高野フミ 編 世界大百科事典 (20210927)

①複数種類の日本語
タイトルで翻訳されて
いることがわかります。

<https://id.ndl.go.jp/auth/ndlna/01089483>

画面右の「著作検索」ボタンを押すと、NDLサーチでこの典拠とリンクしている書誌を検索することができます。

Web NDL Authorities
 国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス

Uncle Tom's cabin

ID	01089483
典拠種別 skos:inScheme	著作
名称/タイトル sigref:label	Uncle Tom's cabin
別名/別タイトル #altLabel	アンクル・トムノ小屋; アンクルトムの小屋; アンクルトムズケビン; トムじいやの小屋
制作者等 dct:creator	Stowe, Harriet Beecher, 1811-1896
分類記号	933.6 (NDC9); KS239 (NDLC)

国立国会図書館のサービス
 以下のリンクボタンから国立国会図書館サーチで検索ができます。

著作検索
 件名検索

②クリックしてみてください。

<https://id.ndl.go.jp/auth/ndlna/01089483>

タイトル	著者	出版年
アンクル・トム的小屋下 (光文社古典新訳文庫; KAヒ4-2)	ハリエット・ビーチャー・ストウ著, 土屋京子訳	2023.2
アンクル・トム的小屋上 (光文社古典新訳文庫; KAヒ4-1)	ハリエット・ビーチャー・ストウ著, 土屋京子訳	2023.2
アンクル・トム的小屋: 新訳 新装版	ハリエット・ビーチャー・ストウ著, 小林重二訳	2017.4
Uncle Tom's cabin / Harriet Beecher Stowe. Modern Library ed.		
Uncle Tom's cabin, or, Life among the lowly; The minister's wooing; Oldtown folks / Harriet Beecher Stowe. (The Library of America)		
アンクルトムズケビン: 完譯下	H.B. ストウ, 和氣律二郎 譯	
Uncle Tom's cabin, by Harriet Beecher Stowe.		
アンクルトムズケビン: 完譯上	H.B. ストウ, 和氣律二郎 譯	
Uncle Tom's cabin / by Harriet Beecher Stowe. (Everyman's library : for young people)		[1909]
Uncle Tom's cabin, told to the children, by H.E. Marshall. With pictures by A.S. Forrest. (Told to the children series)		[1908?]
Uncle Tom's cabin / by Harriet Beecher Stowe; illustrations by A. S. Forrest. (The Nelson classics; 7)		[19--]
Uncle Tom's cabin : a tale of life among the lowly / by Harriet Beecher Stowe.		[19--?]
Uncle Tom's cabin : a tale of life among the lowly / by Harriet Beecher-Stowe; with original illustrations by Jenny Nystrom-Stoopendaal.		1899.
Khizhina diadi Toma / S prilozheniem bibliografii éтого proizvedeniia Dzhorzha Bullena. Izd. 2. (Novaia biblioteka Suvorina)		1899-
Uncle Tom's cabin / by Harriet Beecher Stowe; with twenty-seven illustrations on wood by George Cruikshank.		1852.
Uncle Tom's cabin; or, Life among the lowly / by Harriet Beecher Stowe.		1852.
Uncle Tom's cabin; or, Life among the lowly. With introductory remarks by James Sherman.		1811.
Chaloupka strýčka Toma : povídka pro mládež / dle Harrieta Beecher-Stowe a M. Jacobiho; volně vypravuje, Josef Kalenský.		[18--?]

③ NDLサーチの検索結果で「著作」典拠“Uncle Tom's cabin”とリンクしている書誌データが表示されます。

このように、“Uncle Tom's cabin”の「著作」典拠によって、様々なタイトルの日本語訳や別言語訳（この例に表示されているのはロシア語とチェコ語です）、オリジナルの“Uncle Tom's cabin”などをくまとめることができます。

NDL では a) または b) に当てはまる「著作」について典拠を作成しています。

a) 復刻・翻刻または翻訳（現代語訳・口語訳を含む）された古典作品^{※1}の原著作

b) 日本語訳のタイトルが複数存在する近現代の作品^{※2}の原著作

※1 古典作品とは、原語が日本語の場合は慶応4年以前、中国語の場合は宣統3年以前（韓国・朝鮮語の場合もこれに準ずる）、それら以外の言語の場合は1830年以前に成立したものとしています（ただし現段階では、外国の作品の復刻・翻刻および外国の作品が日本語以外の言語にのみ翻訳されている場合は、典拠新設対象外としています）。

※2 近現代の作品とは、原語が日本語の場合は明治元年以後、中国語の場合は宣統4年以後（韓国・朝鮮語の場合もこれに準ずる）、それら以外の言語の場合は1831年以後に成立したものとしています。

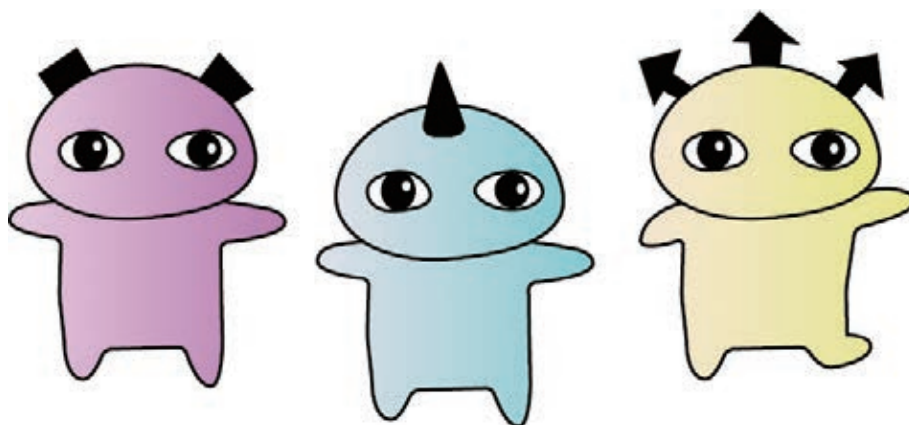
「著作」典拠は、原則、運用を開始した2021年1月以降に、a) または b) に該当する資料がNDLに届いたタイミングで作成を行っています。並行してa)に該当する古典作品の原著作の典拠については、『源氏物語』など著名な「著作」典拠を過去にさかのぼって積極的に作成する取り組みも行っています。

現在「著作」典拠データはa)、b)あわせて約750件作成され、約8,000件^{※3}の書誌とリンクしています（2025年7月2日現在）。「著作」典拠データは、WebNDLAで検索可能なのももちろんのことですが、一括ダウンロード用ファイルページ（<https://id.ndl.go.jp/information/download/>）から全件まとめてデータ取得することもできます^{※4}。

※3 書誌の件数は、運用開始後に作成した書誌と、既存の書誌に遡及してリンクした数の合計。

※4 一括ダウンロード用ファイルページではTAB区切りテキスト形式のファイルで一括ダウンロードが可能です。このファイルはおおよそ3か月ごとに更新します。その間の差分はSPARQLクエリ例から提供しています。詳細はヘルプページをご覧ください。

WebNDLA「3. 著作典拠のダウンロード用ファイル」
<https://id.ndl.go.jp/information/download/#anchor03>



3. 典拠三郎<つなげる> 他機関の識別子の入力拡大



典拠の<つなげる>の機能も、ますます充実してきました。NDLではこれまでも、外部のデータベースと典拠データをつなげてきました。たとえば、OCLCが運営するバーチャル国際典拠ファイル（VIAF）（<https://viaf.org/ja>）というサービスがあります。VIAFは、世界中の図書館などから集めた典拠データをもとに、同じ人物や団体に関する情報をまとめて提供しているものです。NDLの典拠データもこのVIAFと相互にリンクしており、過去の記事（p.26 参照）でもこの取り組みを紹介しています。

さらに、2021年1月からは、NDLが作成する典拠データに記録できる他機関の識別子の対象を広げました。識別子とは、典拠IDのように、データを区別するために付けられた固有の番号や記号のことです。NDLの典拠データに他機関の識別子を記録することで、その機関のデータベースともリンクできるようになります。たとえば2021年1月より開始した「著作」典拠には、国文学研究資料館が提供している国書データベース（<https://kokusho.nijl.ac.jp/>）の著作IDを記録しています。

2023年4月からは、「個人名」典拠に記録する外部機関の識別子の対象を拡大しました。

2023年4月から新たに「個人名」典拠に記録を開始した外部機関の識別子

○ 研究者番号

科学研究費助成事業データベース（KAKEN）の研究者情報に登録されている研究者番号。

・「KAKEN 研究者でさがす」<https://nrid.nii.ac.jp/ja/index/>

○ ORCID（Open Researcher and Contributor ID）

研究者一人一人に割り振られた永続的かつ一意なデジタルな研究者識別子。<https://orcid.org/>で始まり、続く16桁の数字を4桁ごとにハイフンで区切った構造です。

○ 国際標準名称識別子（ISNI: International Standard Name Identifier）

知的創作物やコンテンツに関係する個人および団体に付与される国際的かつ分野横断的な識別番号。ISO 27729。4ブロック16桁の数字で構成されます。

○ NACSIS-CAT 著者名典拠 ID

全国の大学図書館等が所蔵する本（図書や雑誌等）の情報を検索できるサービスであるCiNii Booksの著者名典拠ID。CiNii Booksは、今年度中にCiNii Researchに統合予定のため、名称等が変更される可能性があります。

・CiNii Research「CiNii BooksのCiNii Researchへの統合について」
https://support.nii.ac.jp/ja/cir/cib_integration

○ 国書データベースの著者 ID

2025年7月2日現在で約91,000件の個人名典拠に実施されています。

（参考）WebNDLA「個人名典拠から新たなデータベースへの連携を開始しました」
<https://id.ndl.go.jp/information/2023/05/29/release-27/>

(例)「個人名」典拠「紫式部」の Web NDLA データ

Web NDL Authorities
 国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス

◀ 検索結果に戻る

紫式部, 平安中期

ID	00270993
典拠種別 skos:inScheme	個人名
名称/タイトル xl:prefLabel	紫式部, 平安中期
名称/タイトルのカナ読み ndl:transcription@ja-Kana	ムラサキ シキブ, ヘイアン チュウキ
名称/タイトルのローマ字読み ndl:transcription@ja-Latin	Murasaki Shikibu, Heian Chuki
別名/別タイトル xl:altLabel	Murasaki Shikibu; Мyрасаки Сикибу; Мyрасаки Сикибу; Sinjorino Murasaki; Mourasaki, Shikibou; Zi shi bu; Murasaki Shikibu; Murasaki Sikibu; Мyрасаки Шикибу
経歴 rda:biographicalInformation	物語作者
著作 is dct:creator of	紫式部日記 ; 源氏物語
関連リンク skos:exactMatch	n79100628 (LCNAME); 0000000121441276 (ISNI); DA00311714 (NII); 523091 (KOKUSHO); NDL00270993 (VIAF)

<https://id.ndl.go.jp/auth/ndlna/00270993>



米国議会図書館名称典拠ファイル
(LCNAF: LC Name Authority File)



NACSIS-CAT 著者名典拠 ID



バーチャル国際典拠ファイル
(VIAF: Virtual International Authority File)

これらの識別子の情報を充実させることで、各機関の持つ情報の同定がしやすくなり、典拠データや書誌データのつながりが広がっていきます。当館の蔵書を超えて、様々な機関の典拠データ・書誌データとつながっていくことも可能になります。このようなつながりが、やがて書誌データの世界から飛び出して、皆さんがインターネット上の断片的で大量の検索結果の中から情報を探す時に、役立つツールとなることを願っています。

今後も、この<つなげる>の機能をさらにパワーアップしていきたいと思ひます。



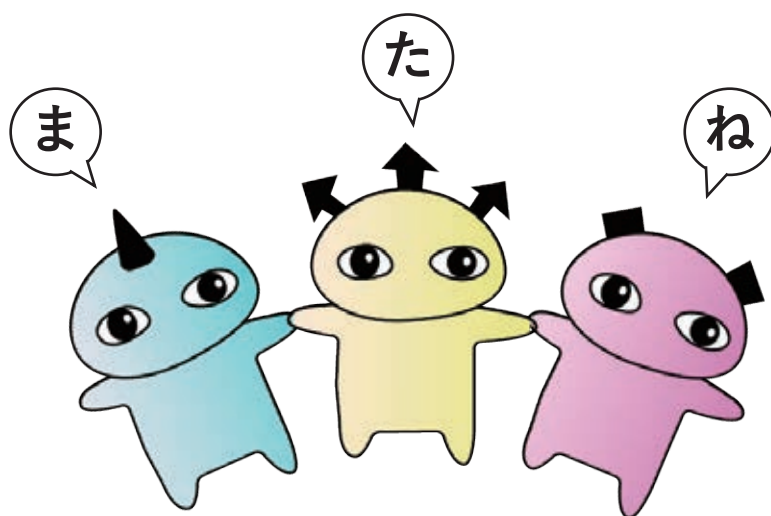
NDLの典拠拡充について、典拠3兄弟にそれぞれの得意技に焦点をあてて、ご紹介いたしました。他にも、これまで通り「個人名」典拠に没年情報を追記する取り組みを進める^{※5}など、典拠データの使用対象や中身を充実させてきました。

このように、典拠の世界は日々拡充が進んでいます。今後もぜひご注目ください。

※5 「国立国会図書館デジタルコレクション」での「著作者情報公開調査」や各コミュニティによる「没年調査ソン」などの参加型取組の結果を、典拠情報へも反映しています。

「著作者情報公開調査」(国立国会図書館デジタルコレクション) <https://dl.ndl.go.jp/opening>

鷲山香織「公共図書館の地域資料を活用した没年調査ソンのすすめ～福井県での事例から」『カレントアウェアネス』No.338, 2018.12.20 <https://current.ndl.go.jp/ca1939>



本記事に関連した『国立国会図書館月報』の過去の記事

典拠の役割について

- ・木下竜馬「What's 書誌調整 ふたたび 第3回 典拠は大切—Web NDL Authorities を使ってみよう!—(前編)」『国立国会図書館月報』656, 2015.12, pp.18-21
<https://dl.ndl.go.jp/view/prepareDownload?itemId=info:ndljp/pid/9535854&bundleNo=1&contentNo=1#page=20>
- ・木下竜馬「What's 書誌調整 ふたたび 第4回 典拠は大切—Web NDL Authorities を使ってみよう!—(後編)」『国立国会図書館月報』657, 2016.1, pp.14-16
<https://dl.ndl.go.jp/view/prepareDownload?itemId=info:ndljp/pid/9578225&bundleNo=1&contentNo=1#page=16>

「著作」典拠について

- ・小林久美子「What's 書誌調整 ふたたび 第12回 新しい「日本目録規則」(NCR2018年版)の特徴」『国立国会図書館月報』691, 2018.11, pp.21-25
http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_11174776_po_geppo1811.pdf?contentNo=1#page=23

バーチャル国際典拠ファイル(VIAF)について

- ・木下竜馬「What's 書誌調整 ふたたび 第4回 典拠は大切—Web NDL Authorities を使ってみよう!—(後編)」『国立国会図書館月報』657, 2016.1, pp.14-16
<https://dl.ndl.go.jp/view/prepareDownload?itemId=info:ndljp/pid/9578225&bundleNo=1&contentNo=1#page=16>
- ・「What's 書誌調整 ふたたび 最終回 日本から世界へ～データの相互運用性」『国立国会図書館月報』696, 2019.4, pp.19-23
http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_11253758_po_geppo1904.pdf?contentNo=1#page=21

地図室書庫の小世界



地図室書庫内、国土地理院やその前身機関により作製された5万分1地形図が収められたキャビネット



東京本館の本館中央部には、古めかしい積層式の書庫棟があります。本館の書庫棟には主に図書が保管されているのですが、我々地図室が所管する「地図室書庫」もその一角に配されており、ここでは約60万点の地図資料を保管しています。

地図室書庫の資料は大まかに3つに分類でき、冊子形態の「住宅地図」、大きな地図が折り畳まれた「折り図」（山岳地図や都市地図など）、そして広げた状態のまま保管される「のし図」（地形図や海図など、一般に平図とも呼ばれる）があります。前者2つはおおよそ図書と同様、書架に立てて収められますが、のし図はそうもいきません。ではどうするのかというと、のし図を広げたまま収めておけるような大型の引出しがついた、特製のキャビネットに収納されます。地図室書庫の半分程度は、このキャビネットに占められています。このキャビネットが楽しいのです。国土地理院やその前身機関が作成した日本の地形図の場合、同じ縮尺・場所の地形図には新旧通じて同じ請求記号が割り振られ、同じ引出しに重ねて排架されます。すなわち引出しを開くと、ある場所の新旧地形図がレイヤーを重ねるように置かれていて、

一枚一枚めくるごとに、明治以来のその土地の変遷が手に取るように見えてくるのです。これが日本全国にわたってあるのですから、本邦国土発展の歴史が詰まった、とても浪漫のある空間です。

外国地形図を排架するキャビネットはまた様相が異なり、世界の地形図が国・縮尺ごとに収められています。地図の表現は各国で多様な創意工夫が行われていて、それらを見比べるのも一興です。

分類記号Y G 13（その他の主題図）が収められるキャビネットは、鳥瞰図やイラストマップ、統計地図など多様な種類の地図が一緒に収められていて、こんな地図もあるのかと発見が尽きません。なんと愉快的な書庫でしょう。閉架書庫ゆえ、職員しか入れないのが、なんとも惜しいところです。

地図室では、索引図やリサーチ・ナビ「地図」のページなど、地図探しに役立つツールの作成を行っています。究極的な目標は、書庫で地図の現物をめぐりながら探すかのように、利用者の方々が自在に地図を探せるようになることですが、道のりはまだまだ半ば。地図をより探しやすい環境の実現を目指し、探究と改善を続けてまいります。

（人文課 地図情報サービス係 小船投錨所）

第三回 多種多様な検印

かつて本の奥付でよく見られた「検印」をご存じでしょうか？

一般に「検印」と言えば検査済みの証明として押す印のことを指しますが、出版用語としての「検印」は、出版者が著作者に支払う印税の計算や偽版防止のために、主に本の奥付部分に押された著者または出版者の印のことを指します。切手程度の大きさの紙（検印紙）に押印された上で、その紙が奥付に貼られている場合もあります。

検印を押す作業に手間もかかるものであり、また、検印の存在は出版者と著者の信頼関係が十分に築かれていないことを示すものだと指摘されることもありました。しかし、当時の本の奥付を眺めると、著者も出版者も検印を心のどこかで楽しんでいただいていたのではないかと思わせるような凝ったデザインの検印・検印紙が多く見つかります。

連載「検印・検印紙セレクション」では、国立国会図書館で所蔵する資料の奥付に見られる検印・検印紙を紹介するとともに、検印に関するコラムもお届けします。

第三回では、個性あふれるすてきな検印をご紹介します。



夏目漱石『こころ』岩波書店，1914
<https://dl.ndl.go.jp/pid/945471/1/221>（モノクロ画像）



（左）夏目漱石についての評伝に捺された森田草平の検印です。『吾輩は猫である』から着想した図でしょうか？
森田草平『夏目漱石』（本編）
甲鳥書林，1942
<https://dl.ndl.go.jp/pid/1885039/1/216>

こだわりの検印

夏目漱石の代表作『こころ』の奥付を開いてみると、鮮やかな緑色で捺された「夏目漱石」という大判の印が目を惹きます。漱石はその序文の中で、「箱、表紙、見返し、扉及び奥附の模様及び題字、朱印、検印ともに、悉く自分で考案して自分で描いた。」と記しており、自らこだわって作った検印であることが分かります。

このように、著者が検印に用いた印は、単に名字を漢字で表記したようなものばかりではありませんでした。フルネームのほかにも、名前をひらがなでデザインしたものや、イニシャルや号を用いたもの、かわいいイラストを使ったものなど、著者のこだわりや遊び心を感じ取ることができるさまざまな検印があります。



河上肇『貧乏物語』弘文堂, 1917
<https://dl.ndl.go.jp/pid/1088344/1/180>
 (モノクロ画像)

河上肇が『貧乏物語』の検印用にこしらえた「貧語著者」という印です。のちに使わなくなるものの、当時は「一生使はふか」と思っていたくらいだったと本人が回想しており、思い入れがあったようです。
 (河上肇ほか『河上肇より榎田民蔵への手紙』鎌倉文庫, 1947, p.124
<https://dl.ndl.go.jp/pid/2972746/1/67>)



柳瀬正夢『柳瀬正夢畫集』叢文閣, 1930
 <請求記号 KC486-H225 >

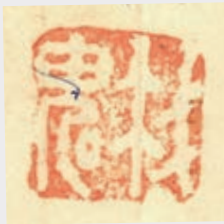
画家・柳瀬正夢は、この世で一本のねじ釘の役割を果たしたいという考えからねじ釘のマークをサインとし、検印にも使用しています。後見人のような存在であったジャーナリスト・長谷川如是閑に「こんな誰でも出来るようなものを印形の代りにしてはいけない」と注意されたといえます。
 (小林勇『赤い靴』新潮社, 1980, pp.165-166
<https://dl.ndl.go.jp/pid/12705840/1/87>)



寺田寅彦『万華鏡』鉄塔書院, 1932
<https://dl.ndl.go.jp/pid/1192093/1/120>

寺田寅彦の検印。寅彦が好きだった植物のヤブコウジと TR を組み合わせています。
 (寺田東一「父・寺田寅彦について」『ゆうびん』3(12), 1952.12, p.10 <請求記号 Z5-171 >)

号 「我鬼」(芥川龍之介の号)



芥川竜之介『戯作三昧
 他六篇』春陽堂, 1921
<https://dl.ndl.go.jp/pid/962374/1/95> (モノクロ画像)

号 「魚眠洞」(室生犀星の号)



『室生犀星詩集』
 第一書房, 1929
<https://dl.ndl.go.jp/pid/1178682/1/175>

ひらがな



海野十三『火葬国風景
 海野十三短篇集』春秋社, 1935
<https://dl.ndl.go.jp/pid/1689765/1/211>

フルネーム



夢野久作『押絵の奇蹟』春陽堂, 1933
<https://dl.ndl.go.jp/pid/1110221/1/127>
 (モノクロ画像)

江戸川乱歩の検印

検印を眺めていると、同じ著者でも様々なバリエーションの印があることに気が付きます。例えば、江戸川乱歩の印を見てみると、「亂」という一字だけでも色々な形のものが見つかります。

他にも、初期の頃は本名である「平井(太郎)」の印を使っていたり、中にはローマ字表記のものもあつたりします。



江戸川乱歩 (1894~1965)

(肖像出典)

『妖奇 日本唯一の異色探偵雑誌』4(7), 1950.7 <請求記号 Z31-415 >



A



B



C



D



E



F



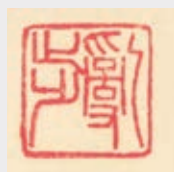
G



H



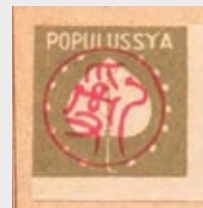
I



J



K



L

- A 『創作探偵小説集』第2巻, 春陽堂, 1926 <https://dl.ndl.go.jp/pid/1018400/1/148> (モノクロ画像)
- B 『日本探偵小説全集』第3篇(江戸川乱歩集), 改造社, 1929 <https://dl.ndl.go.jp/pid/1194272/1/207>
- C 江戸川乱歩『魔術師』平凡社, 1935 <https://dl.ndl.go.jp/pid/1901104/1/222>
- D 江戸川乱歩著『鬼の言葉 感想集』春秋社, 1936 <https://dl.ndl.go.jp/pid/1226635/1/144>
- E [フォルチュヌ・デュ・ボアゴベール][原作]ほか『鐵假面』大日本雄辯會講談社, 1938 <https://dl.ndl.go.jp/pid/1873844/1/187>
- F 『江戸川乱歩選集』第8巻, 新潮社, 1939 <請求記号 760-171 >
- G 江戸川乱歩『少年探偵団』光文社, 1948 <請求記号 VZ3-30659 >
- H 江戸川乱歩『幻影城』岩谷書店, 1954 <請求記号 904-E22g-(1954) >
- I 江戸川乱歩原作ほか『怪奇四十面相』黎明社, 1955 <請求記号 Y16-2553 >
- J 江戸川乱歩ほか『犯罪幻想』東京創元社, 1956 <https://dl.ndl.go.jp/pid/1356480/1/184>
- K 江戸川乱歩等共著『四つの幻影』浪速書房, 1959 <https://dl.ndl.go.jp/pid/1647663/1/150>
- L サッパ 原作ほか『鉄人对怪人』ポプラ社, 1962 <https://dl.ndl.go.jp/pid/1633014/1/145>

愛らしいキャラクターが検印になることもありました。

軍隊に入った野良犬の兵隊生活と出世を明るく描き、人気を博した漫画家・田河水泡の代表作「のらくろ」シリーズの単行本の奥付では、主人公・のらくろの検印を楽しむことができます。



田河水泡（1899～1989）

（肖像出典）

『商工経済』14(2), 1961.1

<https://dl.ndl.go.jp/pid/2254462/1/28>



A 『のらくろ総攻撃』
鉄兜姿ののらくろ。
同巻には鉄兜を被って突撃する場面があります。



B 『のらくろ決死隊長』
千人針を鉢巻にする場面のある同巻では、鉢巻を締めた姿の検印です。



C 『のらくろ武勇談』
勇ましく戦い負傷したのらくろが検印になっています。



D 『のらくろ上等兵』
なぜか3回捺されています。

シリーズを追うごとに、のらくろは進級していき、階級に合わせたタイトルが付けられている巻もあります。それぞれの階級章の検印が捺されているのも見どころです。



E 『のらくろ伍長』



F 『のらくろ軍曹』



G 『のらくろ曹長』



H 『のらくろ少尉』

© 田河水泡／講談社

A 田河水泡『のらくろ総攻撃』大日本雄辯會講談社，1937 <請求記号 Y16-N03-H263 >

B 田河水泡『のらくろ決死隊長』大日本雄辯會講談社，1938 <請求記号 Y16-N01-43 >

C 田河水泡『のらくろ武勇談』大日本雄辯會講談社，1938 <請求記号 Y16-N03-H264 >

D 田河水泡『のらくろ上等兵』大日本雄辯會講談社，1932 <請求記号 Y16-N03-H258 >

E 田河水泡『のらくろ伍長』大日本雄辯會講談社，1933 <請求記号 Y16-N03-H259 >

F 田河水泡『のらくろ軍曹』大日本雄辯會講談社，1934 <請求記号 Y16-N03-H143 >

G 田河水泡『のらくろ曹長』大日本雄辯會講談社，1935 <請求記号 Y16-N03-H260 >

H 田河水泡『のらくろ少尉』大日本雄辯會講談社，1937 <請求記号 Y16-N03-H262 >

検印の変化・廃止

戦後まで続いてきた検印という慣行ですが、本連載第一回でもご紹介したように、1950年代から1960年代にかけて、各出版社で廃止が進み、「検印省略」「検印廃止」といった文言が目立つようになります。多彩なデザインで奥付に味わいを与えてきた検印・検印紙は、次第に姿を消していくことになったのです。

岩波書店における検印の変化

岩波書店では、もともと岩波印と著者印を並べて検印としていましたが、1938年にいずれか一つのみにすることを決定、1951年時点で著者の無検印が97%まで進んでいたとのことで、1959年11月に検印が廃止されました。（参考：『岩波書店五十年』岩波書店，1963，p.169 <https://dl.ndl.go.jp/pid/2938791/1/89>；岩波書店編集部編『写真でみる岩波書店80年』岩波書店，1993，p.293 <請求記号 UE57-E57>）

岩波印と著者印が並んでいる例



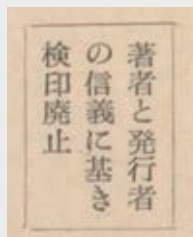
安倍能成『孟子・荀子』岩波書店，1937
<https://dl.ndl.go.jp/pid/1921011/1/97>

出版者印のみが捺されている例

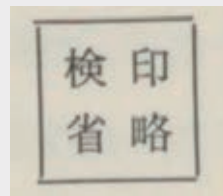


中谷宇吉郎『冬の華』岩波書店，1938
<https://dl.ndl.go.jp/pid/1222885/1/228>

検印の省略・廃止へ



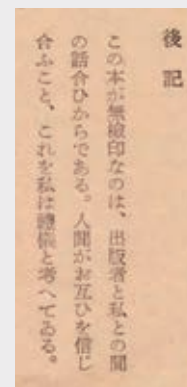
山口正之『通勤列車』
葵書房，1957
<https://dl.ndl.go.jp/pid/2934077/1/81>



久保忠『微分とその応用』
岩波書店，1966
<https://dl.ndl.go.jp/pid/1381595/1/48>



横溝正史ほか『仮面城の秘密』
ポプラ社，1967
<https://dl.ndl.go.jp/pid/1657717/1/142>



高田保『ブラリひょうたん』
創元社，1950
<https://dl.ndl.go.jp/pid/1658969/1/120>

○参考文献

- 岩波布川氏 [布川角左衛門カ]・X「出版界時の主役 書物の無検印」『出版ニュース 出版総合誌』151，1951.1，p.3 <請求記号 Z21-164 >
『岩波書店五十年』岩波書店，1963 <https://dl.ndl.go.jp/pid/2938791>
布川角左衛門『出版の諸相』日本エディタースクール出版部，1975 <https://dl.ndl.go.jp/pid/12276866>
まつやまふみお「柳瀬正夢 画業と生涯」『文化評論』205，新日本出版社，1978.5，pp.176-181 <請求記号 Z23-20 >
岩波書店編集部編『写真でみる岩波書店80年』岩波書店，1993 <請求記号 UE57-E57>
田河水泡，岩田専太郎，土門拳，横尾忠則『芸術家の独創』（日経ビジネス人文庫 私の履歴書）日本経済新聞出版社，2008 <請求記号 K111-J2 >
西川清史『文豪と印影』左右社，2021 <請求記号 KG311-M101 >

(総務部 人事課 浅香 小百合)

本屋に

ない

本



『牟宇姫への手紙
角田石川家に嫁いだ伊達政宗の次女』

角田市郷土資料館 編・刊行
角田市文化財調査報告書
第53集, 第54集, 第55集

- 一 五郎八姫編
2020.3 188 p; 30 cm
<請求記号 GK199-M1294>
- 二 伊達政宗ほか男性編
2021.3 211 p; 30 cm
<請求記号 GK199-M2098>
- 三 後水尾天皇女房帥局ほか女性編
2022.3 233 p; 30 cm
<請求記号 GK199-M3303>

仙台藩62万石を治めた大名・伊達政宗には10男4女、14人の子供がいた。本書は正宗の次女・牟宇姫の元に届いた父や兄弟姉妹、親族からの手紙約150通を解説し、全3巻にまとめたものである。

牟宇姫は政宗42歳の時の子で、12歳で伊達家一門筆頭の角田石川家へ嫁ぎ、76歳で亡くなるまで頻繁に親族と手紙を交わしていた。かつて石川家から角田市に寄贈された資料の中に、牟宇姫宛の手紙が見つかったのは平成26年のことである。まさに歴史的発見だが、実は添えられた江戸時代の覚書には総数485通とあり、内328通が父・政宗からであった。長い間に多くが散逸したが、今後も発見される可能性は高いという。

牟宇姫と父や兄弟姉妹との日常を、手紙から少し紹介しよう(以下「」内は本書掲載の大意からの引用)。姫成人の祝宴翌日の手紙では「久しぶりに逢えてとても嬉しかった。成人後初めてのお酒にお父さんも殊の外酔ってしまい、なかなか筆も取れず詳しく書けないほどだ。それにしても、お母さんのお酒を飲む様子、「面白く可笑しかったね」とあり、親子3人の嬉しい一夜が目につかぶ。政宗は自分で釣った鮎でなれ寿司を作り時々届けてくれた。「来月一日ごろが食べごろだ。それを過ぎると風味が悪くなるので忘れずに食べるように」というくだりからは、父の細やかな愛情が感じられる。兄弟姉妹の中で最も多くの手紙を交わしたのは14歳上の異母姉・五郎八姫。逢っ

た翌日に「昨日のお酒でまだふらふらするのでよく書けない」と二日酔いを打ち明ける仲の良さ。贈り物や花の話題も多く、香や茶、能などの趣味と一緒に楽しんでいたようだ。長兄の宇和島藩主伊達秀宗からは「御用があれば必ず仰ってください。御用を頼まれることがとても嬉しい」と、優しい使いが届いている。兄弟姉妹が手紙を通じて固い絆で結ばれていたのだろう。書き出しは、手紙を出そうとしたら牟宇姫から先に来た、というものが多く、姫の筆まめな性格がうかがえる。

長い人生には悲しみもあった。兄弟姉妹全員に先立たれ、61歳で母と夫、長男の妻・梁姫を失う。梁姫の実家、京都の水無瀬家からは病む娘を案じる手紙が多く届き、そのどれもに、梁姫を大切にしている牟宇姫への深い謝意が綴られている。これらの手紙は第一級の史料であることは勿論だが、江戸初期の大名家に生まれた一人の姫の人生と家族の日常を知ることができる点で、希少な例だろう。

手紙の流麗な散らし書きにも目を奪われる。散らし書きの指南書は世に少なく、本書はその役割も担えるよう工夫して編まれた。写真図版、翻刻、原文、現代語訳と詳細な解説を収録し、翻刻にあたっては原文の文字配置や大きさにも十分配慮がなされている。

大変残念だが、牟宇姫が書いた手紙は実はまだ一通も見つかっていない。本書が発見の契機となり、いつの日か『牟宇姫からの手紙』が刊行されるのを期待したい。(宇野 理恵子)

国立国会図書館は、法律によって定められた納本制度により、日本国内の出版物を広く収集しています。このコーナーでは、主として取次店を通さない国内出版物を取り上げて、ご紹介いたします。

令和8年度国立国会図書館職員採用試験

令和8年度の職員採用試験を次のとおり実施します。

試験の概要

(詳細は試験案内またはホームページをご確認ください。)

種類	受験資格 ^{※1}	受付期間 ^{※2}	第1次試験日	会場
総合職試験	H4.4.2～H18.4.1生	R8.2.2 (月) 10時 ～2.18 (水) 17時	R8.3.22 (日)	第1次試験は東京及び京都。第2次試験及び第3次試験は東京
一般職試験 (大卒程度試験)				
施設設備専門職員採用試験 (大卒程度試験) ^{※3}				
障害者 (係員級) 採用試験 (大卒程度試験)	S62.4.2～H18.4.1生 障害者手帳等所持		R8.4.18 (土)	東京

- ※1
- ・H18.4.2以降に生まれた方でも、総合職試験は大学卒又はR9.3までに卒業見込、それ以外の試験は大学・短大・高専卒又はR9.3までに卒業見込であれば受験可能です。
 - ・日本の国籍をお持ちでない方、国会職員法第2条の規定により国会職員となることができない方、平成11年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている方 (心神耗弱を原因とするもの以外) は受験できません。
 - ・申し込むことができる試験の種類は、1つのみです。(総合職試験には一般職試験 (大卒程度試験) と併願できる総合職特別制度があります。)
- ※2
- ・受験申込みは、原則国立国会図書館ホームページにリンクを掲載する受験申込サイトからのオンライン申込みに限ります。当該サイトからの申込みができない場合は、郵送による申込みを受け付けます (受験申込書の郵送交付請求締切り: R8.2.9 (月) 必着、受験申込書による郵送申込締切り: R8.2.18 (水) 必着)。
- ※3
- ・専門試験 (多肢選択式) は、電気、機械、建築のうちから受験申込時に1科目を選択する方式となります (昨年度は建築のみ)。

○職務内容

- 総合職試験・一般職試験 (大卒程度試験) ・障害者 (係員級) 採用試験 (大卒程度試験)
- 調査業務 司書業務、一般事務等の館務
- 施設設備専門職員採用試験 (大卒程度試験)
- 施設設備の維持及び管理等に関する業務、設備新営・改修工事に関する設計・監理業務、設備に関する技術に係る調査研究業務並びに当該専門的知識を必要とする業務

○障害のある方へ

受験資格を満たせば、障害者 (係員級) 採用試験 (大卒程度試験)、総合職試験、一般職試験 (大卒程度試験)、施設設備専門職員採用試験 (大卒程度試験) のいずれか1つを受験することが可能です。

障害者 (係員級) 採用試験 (大卒程度試験) 以外の試験を受験する場合も、受験上の配慮を行います。

○試験案内の入手方法

- 次のいずれかの方法で入手可能です。
- ・東京本館、関西館又は国際子ども図書館に来館
- ・国立国会図書館ホームページからダウンロード
- ・郵便で請求

受験申込方法等の採用試験の詳細については、国立国会図書館ホームページの採用情報のページを参照してください。

URL <https://www.ndl.go.jp/employ>



○問合せ・資料請求先

国立国会図書館総務部 人事課 任用係
〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1
電話 03(3506)3315
FAX 03(3581)1758

立法を支える調査業務から
知を支える図書館業務まで

令和8年度
**国立国会図書館
職員採用試験**

<申込受付期間> 令和8年 2/2 (月) 10時 ~ 2/18 (水) 17時
<第1次試験日>

- 総合職試験・一般職試験 (大卒程度試験) 3/22 日
- 施設設備専門職員採用試験 (大卒程度試験) 3/22 日
- 障害者 (係員級) 採用試験 (大卒程度試験) 4/18 日

詳細は国立国会図書館
ホームページ
<https://www.ndl.go.jp/employ>

令和8年度採用試験ポスター



第35回関西館資料展示「お届けものです！」
ちらし

関西館資料展示(第35回)「お届けものです！」 —モノと情報の輸送史—

私たちの暮らしは、モノや情報が運ばれることによって成り立っています。それらを運ぶ手段は、古くは人力や家畜を利用したのから始まり、中世の水運、江戸時代の廻船、そして近代以降は鉄道や自動車など、時代とともに発展してきました。

本展示では、古代から現代に至るまでの、モノや情報の輸送の変遷をご紹介します。

どんな輸送手段が日本にはあったのか？モノや情報の輸送によって世の中はどのように変わってきたのか？ 魅力あふれる輸送の歴史をお届けします！

○開催期間 2月19日(木)～3月17日(火)

※日曜・祝日を除く

○開催時間 9時30分～18時

○会場 関西館閲覧室(地下1階)

○問合せ先 関西館資料案内

電話 0774(98)1341

また、関連講演会を次のとおり開催します。ぜひご参加ください。

○演題 中世瀬戸内海東部の海運・水運とその拠点
—兵庫・尼崎・淀—

○講師 綿貫友子氏(神戸大学大学院経済学研究科経済学専攻教授)

○日時 3月7日(土) 14時～15時30分

※講演会終了後、当館職員による資料展示の説明があります。

○会場 関西館 第1研修室(1階)

○定員 70名(事前申込制・先着順)

○申込方法 当館ホームページ「イベント・展示会情報」の申込フォームからお申し込みください。(当館ホームページ「イベント・展示会情報」ページ)

URL <https://www.ndl.go.jp/event>



令和7年度国立国会図書館長と行政・司法各部門支部図書館長との懇談会

令和7年12月15日、標記の懇談会が開催されました。これは、各府省庁と最高裁判所に置かれた支部図書館の充実に資するため、支部図書館長等を招いて毎年行っているものです。今回は対面で開催し、支部図書館22館、分館2館から、35名の支部図書館長、支部図書館職員が参加しました。

国立国会図書館(中央館)からは、「中央館の最近の主な活動」と題し、「デジタル化資料及び全文テキストデータの拡充等のデジタルシフトの進捗状況や中央館・支部図書館間の連携について説明しました。

支部図書館からは、九鬼令和支部国土交通省図書館長から「国土交通省図書館における非来館型サービス、所蔵資料のデジタル化に関する取組」と題し地方勤務者向けサービス等について、尾関淳支部防衛省図書館兼任司書から「防衛省図書館における資料保存、利用者サービス向上等」と題し劣化資料の保存及び電子化等の取組について、それぞれ報告しました。

また、関根聡国立情報学研究所大規模言語モデル研究開発センター特任教授が「生成AI・LLMの安全性の確立/学習データ構築」と題する講演を行いました。有情報などを生成しない安全な日本語の大規模言語モデル(LLM)を構築する研究について示唆に富むお話があり、活発な質疑が行われました。



令和7年度国立国会図書館長と行政・司法各部門支部図書館長との懇談会

中国国家図書館との第41回業務交流

令和7年10月27日から11月2日まで、中国国家図書館（北京）において標記の業務交流が行われ、国立国会図書館から、大場利康利用者サービス部長をはじめ5名の代表団が参加しました。中国国家図書館からは、陳櫻副館長ほか関係職員が多数参加しました。

両館からの基調報告（両館の最近の動きと今後の重点課題）に続き、「図書館における読書推進のアプローチ」及び「図書館における情報提供システムの最近の動向」をテーマとして、双方から報告が行われました。各報告の後、AI技術の業務への組み込みに関する方針、子どもの読書推進事業の企画・運営、情報提供システムの機能等の詳細や今後の展望等について、活発な意見交換が行われました。



中国国家図書館との第41回業務交流

新刊案内

外国の立法 立法情報・翻訳・解説 第306号

カナダの持続可能な雇用法の制定

韓国における新型コロナウイルス感染症ワクチン被害補償特別法の制定

中国・重要軍需産業施設保護条例の制定—軍事施設

保護法との関係を中心に—

オーストラリア・プライバシーの深刻な侵害に係る

法定不法行為の導入—1998年プライバシー法の

改正—



A4 96頁 季刊 1,980円（税込）
ISBN 978-4-87582-948-5
発売 日本図書館協会

レファレンス 900号

『レファレンス』第900号刊行にあたって

『レファレンス』第801号から第900号のあゆみ

米国のサービス貿易—1999年以降の動向と通商

政策—

離島振興の現状と課題

我が国の資金循環の姿とその行方 米英独との比較

を交えて—



A4 90頁 月刊 1,100円（税込）
発売 日本図書館協会

入手のお問い合わせ

日本図書館協会

〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14

電話 03(3523)0812

2

NATIONAL
DIET
LIBRARY
MONTHLY
BULLETIN
2026.2

NO.778

FEBRUARY
2026

CONTENTS

- 01 <Book of the month - from NDL collections>
Umetsukushi: Retro yet modern design
- 05 World Library and Information Congress:
89th IFLA General Conference and Assembly
- 14 Authority data created by the NDL is continuing its expansion
- 28 A selection from the seals and stamps of authors and publishers
Part 3: Various seals and stamps
- 27 <Tidbits of information on NDL>
The small and amusing world of the cabinet storage of maps
- 33 <Books not commercially available>
Muhime eno tegami : Kakuda Ishikawake ni totsuida Date Masamune no jijo
- 34 <NDL Topics>

国立国会図書館月報

令和8年2月号 (No.778)

令和8年2月1日発行

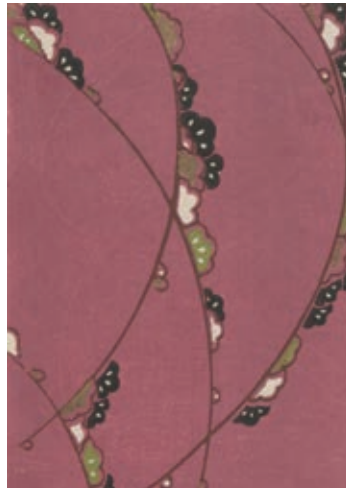
発行所 国立国会図書館

編集者 田中智子

印刷所 株式会社丸井工文社

〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1
電話 03 (3581) 2331 (代表)
FAX 03 (3597) 5617
E-mail geppo@ndl.go.jp
<https://www.ndl.go.jp/>

本誌に掲載した論文等のうち意見にわたる部分は、それぞれ筆者の個人的見解であることをお断りいたします。
本誌に掲載された記事を転載する場合（全文または長文にわたり抜粋する場合、または図版を転載する場合）には、
事前に当館総務部総務課にご連絡ください。
本誌517号以降、PDF版を当館ホームページ（<https://www.ndl.go.jp/>）>刊行物>国立国会図書館月報でご覧いただけます。



NATIONAL
D I E T
LIBRARY
MONTHLY
BULLETIN
2 0 2 6 . 2

 国立国会図書館
National Diet Library, Japan

図

国

国

書

人

士